

第 8 期 介護保険事業計画に記載の指標進捗状況（令和 3 年度）

5 つの基本目標と評価指標

（1）計画全体の施策に係る評価指標

指 標	評価方法
生きがいを感じながら、安心して暮らしている高齢者の割合	市民意識調査において、「生きがいを感じながら、安心して暮らしている」、「どちらかといえば、安心して暮らしている」と回答した 65 歳以上の人数割合を集計し、計画全体の推進状況の評価に活用します。 【現状値（2019（令和元）年度）】78.0%

令和 3 年度

- ▶ 生きがいを感じている 75.8 % （現状値）
（問：日ごろの生活の中で生きがいを感じている）
- ▶ 生涯安心して快適に暮らすことが出来ると思う 69.0 % （参考値）
（問：現在お住いの住宅と周辺地域の住環境について、生涯、安心して快適に暮らすことができると思う）

※令和 4 年実施（2～3 月）の市民意識調査結果を令和 3 年度の進捗状況とする。

令和 2 年度

- ▶ 生きがいを感じている 79.8 % （現状値）
（問：日ごろの生活の中で生きがいを感じている）
- ▶ 生涯安心して快適に暮らすことが出来ると思う 69.2 % （参考値）
（問：現在お住いの住宅と周辺地域の住環境について、生涯、安心して快適に暮らすことができると思う）

※令和 3 年実施（2～3 月）の市民意識調査結果を令和 2 年度の進捗状況とする。

多職種連携によるケース検討数	複合的な課題を他機関連携で解決するために、エリアディレクター会議等でケース検討されたケース件数について時系列評価を行い、複合的な生活課題に対応できる体制の在り方の評価、分析に活用します。 【現状値（2019（令和元）年度）】80 件
----------------	---

令和 3 年度

- ・ ケース検討されたケース件数 96 回

令和 2 年度

- ・ ケース検討されたケース件数 86 回

(2) 基本目標1「介護予防・重度化防止の推進」に対する評価指標

指 標	評価方法
第1号被保険者認定者数及び認定率	<p>年度ごとに第1号被保険者の認定者の状況（要支援・要介護度別）を集計し、時系列評価や地域間比較を行うことで、介護予防活動の推進状況と、生活支援の充実状況の評価に活用します。</p> <p>【現状値（2020（令和2）年3月末時点）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1号被保険者数 24,871人 ・認定者数 4,218人 （内訳）要支援1…320人、要支援2…618人、要介護1…854人、要介護2…906人、要介護3…625人、要介護4…557人、要介護5…338人 ・認定率 17.0% （内訳）要支援1…1.3%、要支援2…2.5%、要介護1…3.4%、要介護2…3.6%、要介護3…2.5%、要介護4…2.2%、要介護5…1.4%

令和3年度（未確定）

- ・第1号被保険者数 25,485人 （2022（令和4）年3月末時点）
- ・認定者数 4,507人
（内訳）要支援1…416人、要支援2…729人、要介護1…873人、要介護2…905人、要介護3…663人、要介護4…614人、要介護5…307人
- ・認定率 17.7%
（内訳）要支援1…1.6%、要支援2…2.9%、要介護1…3.4%、要介護2…3.6%、要介護3…2.6%、要介護4…2.4%、要介護5…1.2%

令和2年度

- ・第1号被保険者数 25,212人 （2021（令和3）年3月末時点）
- ・認定者数 4,366人
（内訳）要支援1…369人、要支援2…669人、要介護1…891人、要介護2…906人、要介護3…639人、要介護4…568人、要介護5…324人
- ・認定率 17.3%
（内訳）要支援1…1.5%、要支援2…2.7%、要介護1…3.5%、要介護2…3.6%、要介護3…2.5%、要介護4…2.3%、要介護5…1.3%

指 標	評価方法
日常生活圏域ニーズ調査による健康に関連する指標の状況	<p>計画策定年度ごとに実施する予定の日常生活圏域ニーズ調査における運動器機能や閉じこもり、転倒等のリスク状況、手段的自立度（IADL／生活機能評価）、知的能動性（ADLの測定では捉えられない高次の生活能力を評価する指標）等健康に関連する指標を集計し、時系列評価や地域間比較を行うことで、介護予防活動の推進状況と、生活支援の充実状況の評価に活用します。</p> <p>【現状値（リスク該当者割合（2019（令和元）年度））】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動器機能低下 11.7% ・ 閉じこもり 16.7% ・ 転倒 29.4% ・ 低栄養 0.9% ・ 口腔機能低下 22.7% ・ 認知 45.0% ・ うつ 37.0% ・ 手段的自立度（IADL）低下 4.1% ・ 知的能動性低下 13.0%

令和3年度

- ・ 運動器機能低下 _____ %
- ・ 閉じこもり _____ %
- ・ 転倒 _____ %
- ・ 低栄養 _____ %
- ・ 口腔機能低下 _____ %
- ・ 認知 _____ %
- ・ うつ _____ %
- ・ 手段的自立度（IADL）低下 _____ %
- ・ 知的能動性低下 _____ %

令和2年度

- ・ 運動器機能低下 _____ %
- ・ 閉じこもり _____ %
- ・ 転倒 _____ %
- ・ 低栄養 _____ %
- ・ 口腔機能低下 _____ %
- ・ 認知 _____ %
- ・ うつ _____ %
- ・ 手段的自立度（IADL）低下 _____ %
- ・ 知的能動性低下 _____ %

指 標	評価方法
健康な暮らしを送っていると感じている高齢者の割合	市民意識調査において、「健康な暮らしを送っていると感じている」「どちらとえば感じている」と回答した 65 歳以上の人数割合を集計し、介護予防活動の推進状況の評価に活用します。 【現状値（2019（令和元）年度）】 73.3%

令和 3 年度 74.3 %

令和 2 年度 74.5 %

（問：現在、自分は健康である。）

指 標	評価方法
週に 1 回以上運動している高齢者の割合	市民意識調査において、週 1 回以上スポーツに親しんでいる 65 歳以上の人数割合を集計し、時系列評価により、運動や身体活動の促進状況、また、生きがいにつながる活動の促進状況の評価に活用します。 【現状値（2019（令和元）年度）】 56.8%

令和 3 年度 56.3 %

令和 2 年度 57.9 %

（問：あなたは、どの程度スポーツに親しんでおられますか）

指 標	評価方法
生涯学習（学習や文化活動、趣味など）に取り組んでいる高齢者の割合	市民意識調査において、生涯学習に取り組んでいる 65 歳以上の人数割合を集計し、時系列評価により、生きがいにつながる活動の促進状況の評価に活用します。 【現状値（2019（令和元）年度）】 52.9%

令和 3 年度 47.5 %

令和 2 年度 48.3 %

（問：自らの人生を楽しく豊かにするために「生涯学習」といわれる自ら進んで行う学習や文化活動、趣味などに取り組んでいる）

指 標	評価方法
特定健康診査、がん検診の受診率	<p>年度ごとに特定健康診査の実施率やがん検診の受診率を集計し、時系列評価により、生活習慣病の発症予防や重症化予防の推進状況の評価に活用します。</p> <p>【現状値（2019（令和元）年度）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健康診査受診率 43.1% ・ 胃がん検診受診率 14.7% ・ 大腸がん検診受診率 27.4% ・ 肺がん検診受診率 34.4% ・ 乳がん検診受診率 19.4% ・ 子宮がん検診受診率 22.8%

令和3年度

- ・ 特定健康診査受診率 43.9 % （確定値は11月）
- ・ 胃がん検診受診率 12.7 %
- ・ 大腸がん検診受診率 25.7 %
- ・ 肺がん検診受診率 34.2 %
- ・ 乳がん検診受診率 15.1 %
- ・ 子宮がん検診受診率 20.0 %

令和2年度

- ・ 特定健康診査受診率 43.4 %
- ・ 胃がん検診受診率 12.0 %
- ・ 大腸がん検診受診率 24.3 %
- ・ 肺がん検診受診率 32.7 %
- ・ 乳がん検診受診率 13.6 %
- ・ 子宮がん検診受診率 18.1 %

指 標	評価方法
「まちの保健室」の相談件数	<p>年度ごとに「まちの保健室」の相談件数を集計し、時系列評価により、多様化する地域課題やニーズを早期に把握し関係機関につなぐなど、生活不安の軽減に向けた取組状況の評価に活用します。</p> <p>【現状値（2019（令和元）年度）】 28,973 件</p>

令和3年度 30,519 件

令和2年度 28,402 件

(3) 基本目標2「要介護となった高齢者へのサービスの充実」に対する評価指標

指 標	評価方法
サービス基盤整備数	認知症対応型共同生活介護等の整備数について、認定者数の推移や介護保険給付実績などの運営実績等を検証しながら、サービス基盤の充実に向けた取組状況の評価に活用します。 【現状値】介護保険事業計画（第7期改訂）第5章参照

介護サービス名	目標数	実績数	差引	備 考
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	80床	80床		特別養護老人ホーム第5はなの里 (R3.5 開設)
認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)	18床	9床	△9床	グループホーム新 (R3.4 増床)
小規模多機能型居宅介護	1事業所	1事業所		多機能ホームゆり (R3.6 開設)
第1号訪問介護	—	△1事業所	△1事業所	さくらんぼ名張 (R4.1.1 休止)
第1号通所介護	—	△1事業所	△1事業所	地域密着型通所介護 きらきら (R3.4.30 休止)

指 標	評価方法
リハビリテーションサービスの提供事業所数と利用率	<p>年度ごとに、サービス提供事業所数と要介護（支援）認定者を分母とした利用率を集計し、時系列評価や地域間比較を行うことで、必要なサービス基盤の構築に活用します。</p> <p>【現状値（2020（令和2）年2月末時点）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問リハビリテーション 2施設 0.6% ・ 通所リハビリテーション 3施設 5.4% ・ 介護老人保健施設 2施設 4.0% ・ 介護医療院 なし

令和3年度

・ 訪問リハビリテーション	2施設	<u>0.5</u> %
・ 通所リハビリテーション	3施設	<u>4.4</u> %
・ 介護老人保健施設	2施設	<u>3.0</u> %
・ 介護医療院	1施設	<u>0.6</u> %

令和2年度

・ 訪問リハビリテーション	2施設	<u>0.6</u> %
・ 通所リハビリテーション	3施設	<u>4.7</u> %
・ 介護老人保健施設	2施設	<u>3.4</u> %
・ 介護医療院	1施設	<u>0.6</u> %

指 標	評価方法
介護サービス相談員の派遣回数	<p>年度ごとに介護サービス相談員の派遣回数を集計し、時系列評価により、施設サービスの質の向上に向けた取組状況の評価に活用します。</p> <p>【現状値（2019（令和元）年度）】 76回</p>

令和3年度 0回 （コロナ感染対策のため、派遣中止）

令和2年度 0回 （コロナ感染対策のため、派遣中止）

指 標	評価方法
介護給付適正化事業の実施状況	<p>介護給付適正化システムより過剰な可能性がある給付や、給付限度額の割合が高い給付、サービスの偏りのある給付等を抽出し点検を行った実施件数等の実績を把握し、介護給付適正化の事業評価に活用します。</p> <p>【現状値（2019（令和元）年度）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン点検の実施件数 242 件 ・医療情報との突合・縦覧点検件数 19 件

令和3年度

- ・ケアプラン点検の実施件数 193 件
- ・医療情報との突合・縦覧点検件数 25 件

令和2年度

- ・ケアプラン点検の実施件数 230 件
- ・医療情報との突合・縦覧点検件数 17 件

(4) 基本目標3「認知症施策の推進」に対する評価指標

指 標	評価方法
認知症初期集中支援チームケース検討数	年度ごとに認知症職集中支援チームがケース検討したケース数を集計し、時系列評価により、認知症への関係機関の取組状況の評価に活用します。 【現状値（2019（令和元）年度）】 ・本会議ケース 9件 ・サブ会議ケース 16件

令和3年度

- ・本会議ケース 3 件
- ・サブ会議ケース 12 件

令和2年度

- ・本会議ケース 6 件
- ・サブ会議ケース 12 件

指 標	評価方法
認知症サポーター養成数	年度ごとに認知症サポーター養成講座を受講した認知症サポーターの養成数を集計し、時系列評価により、認知症に理解がある地域社会の構築に向けた取組状況の評価に活用します。 【現状値（2019（令和元）年度）】 1,233人 (2019（令和元）年度末までの合計養成者数 10,736人)

令和3年度 159 人

※令和3年度末までの養成者数 11,354 人

令和2年度 459 人

※令和2年度末までの養成者数 11,195 人

(5) 基本目標4「在宅医療の充実と在宅医療・介護連携の推進」に対する評価指標

指 標	評価方法
地域医療機関（開業医や公立病院等）での現在の医療体制に満足している市民の割合	市民意識調査において、現在の医療体制に「十分満足している」「一応満足している」と回答した市民の人数割合を集計し、時系列評価により、在宅医療の充実状況の評価に活用します。 【現状値（2019（令和元）年度）】53.4%

令和3年度 59.9 %

令和2年度 57.6 %

（問：地域医療機関での、現在の医療体制について）

指 標	評価方法
在宅医療支援センターによる相談件数	年度ごとに在宅医療支援センターによる相談件数を集計し、時系列評価により、在宅療養者への支援が図れているかの評価に活用します。 【現状値（2019（令和元）年度）】 ・相談実件数 81件 ・相談件数 延べ159件

令和3年度

・相談実件数 100 件

・相談のべ件数 172 件

令和2年度

・相談実件数 98 件

・相談のべ件数 161 件

指 標	評価方法
医療・介護多職種連携研修の実施件数、参加人数	年度ごとに医療・介護多職種連携研修の実施件数や参加人数を集計し、時系列評価により、医療、福祉、保健従事者などのネットワークづくりに係る推進状況の評価に活用します。 【現状値（2019（令和元）年度）】 ・実施件数 10回 ・参加人数 延べ1,152人

令和3年度

・実施件数 1 回

・参加人数 102 人

令和2年度

・実施件数 0 回（新型コロナウイルス感染症拡大のため、開催中止）

・参加人数 0 人

(6) 基本目標5「住み慣れた地域で生活するための安心・安全の確保」に対する評価指標

指 標	評価方法
地域における生活支援活動の実施状況	<p>地域によるサロンや配食ボランティア、生活支援活動の実施状況を把握し、日常生活を支援する体制整備の推進状況の評価に活用します。</p> <p>【現状値（2020（令和2）年3月末時点）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援活動 10 地域 ・コミュニティカフェ（カフェスペースでの交流の場）8 か所（8 地域） ・ふれあい・いきいきサロン（高齢者等サロン）84 か所（15 地域） ・配食ボランティア 8 団体（8 地域） <p>※コミュニティカフェは、名張市社会福祉協議会の把握数です。</p> <p>※ふれあい・いきいきサロン、配食ボランティアは、名張市ボランティアセンターへの登録数です。</p>

2022（令和4）年3月末時点

- ・生活支援活動 11 地域
- ・コミュニティカフェ（カフェスペースでの交流の場）8 か所（6 地域）
- ・ふれあい・いきいきサロン（高齢者等サロン）84 か所（15 地域）
- ・配食ボランティア 9 団体（9 地域）

2021（令和3）年3月末時点

- ・生活支援活動 10 地域
- ・コミュニティカフェ（カフェスペースでの交流の場）8 か所（8 地域）
- ・ふれあい・いきいきサロン（高齢者等サロン）84 か所（15 地域）
- ・配食ボランティア 8 団体（8 地域）

※コミュニティカフェは、名張市社会福祉協議会把握数

ふれあい・いきいきサロン、配食ボランティアは、名張市ボランティアセンター登録数

指 標	評価方法
地域づくり活動に参加したことがある 65 歳以上の市民の割合	市民意識調査において、地域づくり活動（地域づくり組織・区・自治会などの活動）に「現在参加している」、「過去に参加した経験がある」と回答した 65 歳以上の人数割合を集計し、日常生活を支援する体制整備の推進状況の評価に活用します。 【現状値（2019（令和元）年度）】 71.7%

令和 3 年度 70.4 %

令和 2 年度 70.9 %

（問：あなたは、地域づくり活動に参したことがありますか）

指 標	評価方法
住宅と周辺地域の住環境について、生涯、安心して快適に暮らすことができると思う高齢者の割合	市民意識調査において、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した 65 歳以上の人数割合を集計し、日常生活を支援する体制整備の推進状況の評価に活用します。 【現状値（2019（令和元）年度）】 69.4%

令和 3 年度 69.0 %

令和 2 年度 69.2 %

（問：現在お住いの住宅と周辺地域の住環境について、生涯、安心して快適に暮らすことができると思う）